


令和 8 年 5 月 1 3 日

学校法人仁多学園
理事長 糸 原 保 様

学校法人仁多学園監事

村 尾 明 利 

学校法人仁多学園監事

森 長 洋 二 

令和 7 年度学校法人仁多学園決算監査報告書

学校法人仁多学園寄附行為第 2 8 条第 1 項第 2 号の規定により、令和 7 年度学校法人仁多学園の業務並びに財産の状況について、監査を実施したので、その結果について下記のとおり報告します。

記

監査の概要

- (1) 監査の期日 令和 8 年 5 月 1 3 日 (水)
- (2) 監査の場所 島根リハビリテーション学院
- (3) 監査の手続

本監査は理事長から提出された令和 7 年度学校法人仁多学園資金収支計算書をはじめとする財務諸表並びに事業報告書等に表示された計数が、財務内容及び経営の成果を的確に把握処理されているか、また、諸法規、寄附行為に照らし、合法的かつ適正に業務が遂行されているかを確認するため、会計諸帳票、預金通帳等、証拠書類との照合等を行い、実施状況を検証した。

監査の結果

- (1) 決算諸表について

監査に付された決算諸表は、事業の財務状況及び経営の成績が適正に表示されており、その計数は正確に処理されていると認めた。

(2) 経営の状況について

◎ 入学生の動向

令和7年度の入学者数は理学療法学科28名、作業療法学科6名、計34名で、作業療法学科の入学者数が少なかった。また、在籍学生数は178名となり、前年度当初比26名の減となった。

◎ 収支の状況

事業活動収入合計は2億6,451万8千円余(対前年比89.3%)、事業活動支出合計は2億9,905万4千円余(同93.4%)で、基本金組入前当年度収支差額は3,453万5千円余の赤字(前年度2,379万5千円余の赤字)であった。単年度収支赤字額増分は学生数の減少に伴う納付金減などによるものである。

基本金組入額は3,575万円余で、1号基本金である。

(3) 個別事項

- ① 預金については、取引金融機関の令和8年3月31日現在の残高証明書等により確認した。
- ② 学院の教育活動等の実施状況は令和7年度重点目標達成状況報告書等により確認した。

(4) 総括

令和5年度より学生数は減少に転じ、入学生確保に向け様々な取組が進められている。令和8年度には、理学療法学科37名、作業療法学科11名、計48名が入学し、前年度に比べ入学生は14名増加した。18歳人口の減少が見込まれる中で厳しい状況は続くものと考えられるが、今後は、作業療法学科の教育の魅力の創出、高校生との接触機会の更なる拡大、広報活動を行うスタッフの育成に取組まれると聞いており、そのような積極的な活動を通じて、引き続き入学生の確保に取組まれたい。

令和7年度卒業生の国家試験合格率は、両学科とも100%で、いずれも全国平均を上回ったことは非常に評価できるものであり、合格率100%の維持を目指し、引き続き教員各位の熱意ある指導と努力を期待したい。

以上、監査報告とする。